

## 塔ノ岳 & 鍋割山(丹沢) [編集する](#)

2010 年 04 月 21 日 01:20 [\(友人の友人まで公開\)](#)

6 view



今夏、北岳(=日本で 2 番目に高い山)に登ってみたい、という O さんは、筋金入りのバドミントンプレーヤー<sup>ー</sup>🏸

なので、山もバドミントンバッグで登ろうと言い張るくらい...。  
(→さすがにそれは止めてもらう🚫)

まあ、何はともあれ、いきなり北岳はハードなので、手始めとして、丹沢に行ってきました~。(しかも O さんは、トレーニングの名のもと、自発的に 5 リットルの水を持ってきていたり... 😱)

---

今月上旬に塔ノ岳に登ってきた人のホームページを見ていると、登山道はすっかり夏道になったと書かれてあつたけど...。

前々日、都内では観測史上最も遅い雪が降ったとあり、丹沢はやっぱり雪景色でした❄️

【4 月 18 日(日) くもり】

ぬかるみの中、出発してみたものの、最初に出てくるピーク、三ノ塔では視界も真っ白... ❄️



(三ノ塔付近)

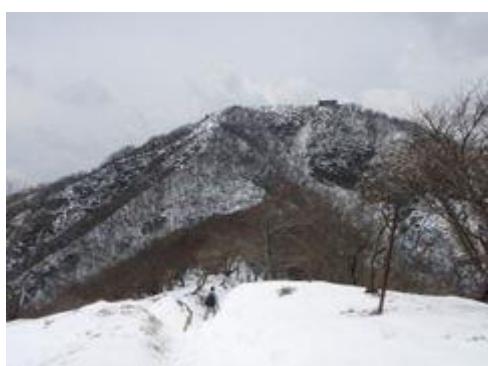
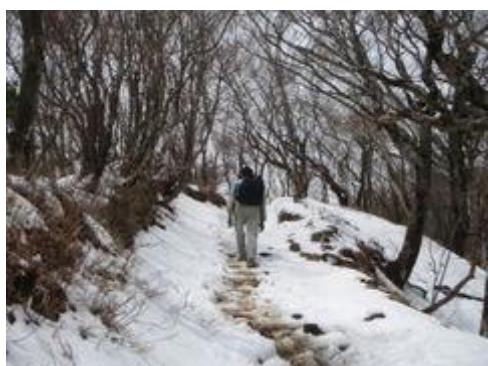
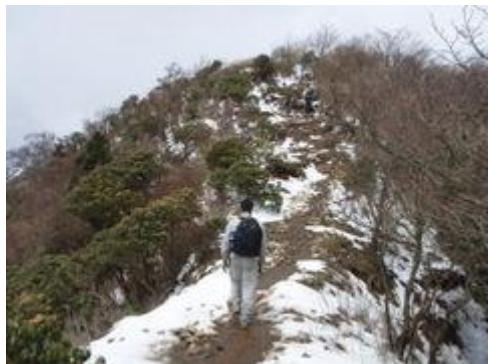
行者岳付近の鎖場も、足場が危うい… ↓



と、Oさんには初山行でいきなりこんなところを歩かせてしまったけれど、それでもOさんはアップダウンのある登山道を軽快に歩くので、ひと安心。雪道を、コースタイム以内(しかも休憩含む)に歩ければ、文句なしでしょう! 👍

そして、日頃の行いがいいので、天気も登り坂 🚶

勢いに乗って、確実に核心部へと迫り、



ようやく着いた塔ノ岳は大賑わい。(→多くの登山客は、大倉から登ってきていた様子。) 山小屋(尊仏山荘)の前では、鹿くんも大歓迎してくれました♪



塔ノ岳で昼食後、このまま大倉に下るプランもあったが、欲張って鍋割山へ。(→そのくらい、○さんは元気な人だった!🐰)

ここからは登山客も比較的少なくなり、基本は下りなので歩きやすい。鍋割山荘に到着すると、名物「鍋焼うどん」ののぼりがなびいているが、



ここは先を急ぐので、我慢💨

後半は、カラカラに乾いた夏道。この辺りに雪が降った気配はなく(降ったとしたら雨!?)、かなり暑かった…



新緑にはまだ早かったけど、ごくたまに、桜が咲いているのが意外だった。まさか誰かが植樹💡したのだろうか!?

そして、ここから「寄(やどろき)」の集落まで一気に下ると、そこには茶畠の濃い緑や、地元では有名らしい「土佐原のしだれ桜」の艶やかさに、春の訪れを感じたのでありました!!



お見事!! 春だね😊

8:25 ヤビツ峠

8:45 登山口

9:40-9:45 二ノ塔

10:05-10:10 三ノ塔

10:35 烏尾山荘

11:05 行者岳

11:20-11:25 大日小屋

12:05-12:45 塔ノ岳

13:40-13:50 鍋割山

14:40-14:45 粟ノ木洞

14:55 櫻(くぬぎ)山

15:40 寄(やどりき)

-----

ここで、誠に残念なことに、1時間に1本しかないバスに間に合わなかつた～。どうして日本のバスは、こんなに時刻に正確なのか…?

(結局、紅茶を淹れて、待つこと55分。ようやく予定どおりのバスがやってくる。やはり日本のバスは、定刻どおりだった…)

この55分を取り返すためには、からすの行水!?

温泉♨に到着後、Oさんは、温泉にさくっと浸かり、そのままバドミントンをしに、体育館へ向かったのでありました。 あっぱれ。(※おれはの～んびり温泉につかってたけどね)

というわけで(!?)、今年も夏山を目指してがんばりませう!

お疲れ様でした。